

ふるさとわがまちづくり

七重自治区(小呂)

◆「小呂」の歴史

小呂町を含む七重自治区は寺下町、滝見町、小呂町の3町からなっています。

ここは明治22年くらいまで七重村と呼んでいました。7つの村、つまり寺下、滝見、小呂の3町と、それに上高町、千鳥町、成合町、手呂町を合わせたものです。現在では、千鳥町と成合町が千鳥・成合自治区に、上高町は上高自治区となりましたが、七重自治区は、寺下町、滝見町、小呂町、手呂町の4町でスタートしました。みんなで話し合った結果、最初に呼ばれていた七重村の文字を取って名を付けました。

その後、手呂町は、手呂自治区となり、今の3町からなる七重自治区となりました。

◆「火祭り」

小呂町には、小猿投山と呼ばれる小山がありますが、ここでは毎年10月“火祭り”というお祭りが行われています。昔は松の古株で作った松明を108つ、灯したそうですが、今はローソクを使用しています。



◆まちづくり

現在14戸、人口66人と小さな町ですが、寺下町、滝見町と協力し、七重自治区では、次のようなまちづくりに取り組んでいます。

- ①交通安全の啓発発動では、街頭指導に立哨活動や住民の誘導等
- ②安心安全な住みよいまちづくりのために地域事業を積極的に推進
- ③老人クラブの方々を中心に公共施設やお寺の草刈りや美化活動を毎月実施
- ④「岩本川」上流のホタル水路の草刈りや見守り
- ⑤共同美化活動や道路・河川等の草刈り作業や土木作業



阿弥陀堂



神明神社



高台から見た小呂町風景

◆小呂町の課題

小呂町にも、他地区と同じように少子高齢化の問題が深刻化しています。この時代の潮流を乗り切り、今後も和やかな毎日が過ごすことが出来れば良いと思います。



小呂町区民会館

小呂自治区データ (H20.4現在)

世帯数：14世帯
：15世帯(昭和52年)
組数：1組
面積：0.864Km²
自治区たより：「ふれあい七重」年4回
回覧：月2回
防犯灯設置箇所：11箇所
小学校：上鷹見小学校区
自治区会館：小呂町区民会館